

キャラクター名
榎 琥珀(ゆずりは こはく)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ モルフェウス	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17	性別	女
覚醒	死	衝動	破壊	初期侵食率	34 %
出自	名家の生まれ	経験	心の壁	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	20
肉体	3	0	0			3	行動値	9
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	9
精神	1	0	0			1	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	10	2	RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	3	1	調達	5	
運転:			芸術:ピアノ	6		知識:			情報:UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:噂話	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クライバイビー	射撃	4r+9		11		破壊時、侵蝕2上昇で破壊打消し ↑演出上は投擲用の槍

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
----	----	----	----	----	----

所持品	
ウェポンケース	
思い出の一品	
情報収集チーム	
コネ:UGN幹部	
コネ:噂好きの友人	
コネ:手配師	
炸裂徹甲弾	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者:雷神の戦艦P		N		
家族	P 純愛	N 疎外感		
相模 奈々香	P 友情	N 不信感		
リーフ	P 信頼	N 劣等感		
片喰 葉	P 友情	N 脅威		
薄野 呉羽	P 信頼	N 食傷		
前崎 ひとり	P 尊敬	N 不安		

最大財産P: 12 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:モルフェウス	3	2	メジャー					
効果: C値-[Lv](下限値7)								
カスタマイズ	3	2	メジャー	武器		対決		
効果: 判定ダイス+[Lv]個								
ギガンティックモード	1	3	メジャー	武器	範囲(選択)	対決		
効果: 対象を範囲(選択)に変更、判定後武器破壊								
ストライクモード	3	6	メジャー		単体	対決	80↑	
効果: ダメージ+[Lv]D、判定後武器破壊								
ポルターガイスト	1	4	マイナー	至近	自身	自動	100↑	
効果: 所持武器の中から一つ破壊して、その武器の攻撃力をシーン間上乘せ								
デトネイトモード	2	3	オート	至近	自身	自動	120↑、破壊	
効果: 武器攻撃力2倍、HP5喪失、武器破壊、シナリオ[Lv]回								
ショート	★							
効果:								
急速分解	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【人物】
 一見、表情に乏しく、口数の少ない大人しい少女
 しかし、表情は分かりづらいだけで、寧ろ人並みより豊かなほど
 口数は確かに少ないが、それは慣れていない人が相手の時に限ったものであり、慣れていく相手ならば普通に喋りもする
 内弁慶とは言われないが、人見知りの気は確かにある
 性格はよく言えば素直で世間擦れしていない、悪く言えば世間知らずといった感じで、非常識とまでは言わないまでも、育った環境故にフィクションでしか見かけないような天然ボケをかますことも
 又、チルドレンとしては珍しく、家族は全員存命であり、家族仲は良好
 両親には、その職業も考慮して、レネゲイドについて明かされており、両親の理解の元、チルドレンとして活動している
 その為、仕事に対するモチベーションは高い
 それを抜きにしても真面目、というかサボったり不正をしたり、といった思考回路が基本的に無い
 総じて善良な少女、だが、自身の、延いては家族の敵となり得る相手には容赦がない一面をみせることも

【経歴】
 J市にていわゆる、地方の名士と呼ばれる家柄に生まれ付いた少女
 父親は地方議会議員を勤めており、母親は高名なピアノ奏者という家に生まれながら、フィクションのように過度に厳しく育てられることも、過度に放任されることも無く、愛情を注がれて幼少期を過ごす
 ピアノ演奏の才能を幼少期に開花させているが、無理に演奏させられたことはなく、コンクールとうでの受賞記録もない
 こんな有り触れた(平凡という意味では無く、探せば幾らでもいるような、という意味で)彼女の生活が一変したのは3年前のこと
 中学生からは一人でのお出かけ、も許可されるようになり、その日も彼女は一人で近隣のショッピングモールに来ていた
 いつものように音楽用品を置いている店を幾つか回って、気に入った譜面があれば、金額によっては購入する
 そうして家に帰れば、ワクワクしながら譜面を読み、母と共に楽しく練習する